

事務事業名	加茂交流センター整備事業	所属部	加茂総合センター	所属課	自治振興課	
総合計画画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	自治振興グループ	
	施策名	〈01〉市民が主役のまちづくりの推進		課長名	内田 幸治	
	目的: 対象: 市民	意図	まちづくりの課題を主体的に解決する。		電話番号	0854-49-8601
	基本事業名	〈003〉まちづくり活動の拠点整備		担当者名	菊地 隆克	
目的: 対象: 市民	意図	活動しやすくなる。		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0:11002 自治振興事業 項 目 中事業 中事業名 0:56525 加茂交流センター整備事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 元 年度 ~ 3 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
現加茂交流センターは、交流センター活動の機能を果たしていない施設、又防災拠点施設として相応しくないことによる建替え業務 R元年度 基本設計業務 R2年度 地質調査、敷地測量、実施設計及び一部外構工事 R3年度 建設工事(本体)、一部外構工事

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)			
		・基本設計業務	・実施設計業務 ・地質調査業務 ・敷地測量業務 ・外構工事(一部)			
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	ア 基本設計業務	式			1	
	イ 実施設計業務	式				1
	ウ 地質調査、敷地測量業務	式				1
	エ 外構工事(一部)	式				1

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	①加茂交流センター ②加茂町内住民	ア 加茂交流センター	式			1	1
		イ 加茂町人口	人			5,841	5,800
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	・加茂交流センターが建替えられ、加茂町内のまちづくりの拠点として整備される。	ア 利用件数	件			1,011	800
		イ 利用人数	人			10,165	8,200
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
基本設計業務 4,268千円	財源内訳	千円				17,657
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				17,600
	その他	千円			4,200	
	一般財源	千円			68	865
	事業費計 (A)	千円			4,268	36,122
	人件費	人			2	
	正規職員従事人数	人				
	延べ業務時間	時間			800	
	人件費計 (B)	千円			3,392	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			7,660	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
現加茂交流センターは、平成10年に主として児童・生徒の放課後の活動の場として建設されたものであり、交流センター活動に支障をきたしている。また、低い土地に建っており、水害時には水没する可能性があり、地域の防災拠点施設として相応しくない状況である。	令和元年度に基本設計業務を完了し、令和2年度に地質調査、敷地測量、実施設計及び一部外構工事を行う方向で進めている。	加茂町では、14あった地域自主組織を統合し、平成27年4月に1つの地域自主組織「加茂まちづくり協議会」が発足した。その後、加茂町の地域づくりの指針となる「地区計画」が策定されたが、この計画を確実に実行していくためには、新たな活動拠点となる交流センターの建設が必要とされ、地域で活躍される様々な分野の方々で構成された建設委員会を立ち上げ、それぞれの視点から意見を出し合ってまとめあげた「建設要望書」が3回にわたって雲南市に提出されている。

### 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由											
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒												
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？												
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒												
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？												
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒												
④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	理由 既存の加茂総合センターの限られた敷地内に建設するため、これ以上の向上の余地はない。												
<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない													
⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	理由 加茂交流センターとしての拠点施設であり、施設整備は不可欠である。												
<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有													
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	理由 加茂交流センターとしての拠点施設であり、施設整備は不可欠である。												
<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		(具体的な手段や類似事業名)											
⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	理由 市有地に建替え予定であり、これ以上の削減余地はない。												
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない													
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	理由 必要最小限の人員で行っており、これ以上の削減の余地はない。												
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない													
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	理由 一般市民が利用する地域の拠点施設であるので受益者負担はない。												
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である													
C 効率性	① 1次評価者としての評価結果												
	<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">A 目的妥当性</td> <td style="width:33%;"><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td style="width:33%;"><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>B 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>C 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>D 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>		A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
D 公平性	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)												
	地域の拠点施設であり、加茂交流センターとしての施設建築は、より良い地域づくりのため必要と考える。												

### 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
R2年度 地質調査、敷地測量、実施設計及び一部外構工事を計画予定している。 R3年度 建設工事(本体)、一部外構工事を計画予定している。																						